

能登半島地震・奥能登豪雨から語る、 あの日と今 ～輪島の最前線から～

- 石川県 輪島市 -



令和6年能登半島地震、そして同年の奥能登豪雨。大規模災害が相次いだ石川県輪島市の現場で何が起き、そこから今日までどのような歩みが続いてきたのでしょうか。その現実と必要な備えを、経験者の語りから学んでみませんか。

令和8年 **2月22日** 

時間 9:30～11:30 (30分前受付開始)

対象者 どなたでもご参加いただけます

参加費 無料 (会場で実施する募金活動にご協力ください)
※募金は輪島復興支援団体リガーレの活動支援金として活用

定員 先着120名 (要事前申込)

会場 武豊町中央公民館 講堂

申込み 電話または社会福祉協議会窓口でお申込みください。
右下の二次元コードからの申し込みも可能です。

講師

Masaya Tsuchiya

槌谷 雅也氏

輪島復興支援団体リガーレ
代表

輪島市出身。令和6年能登半島地震と奥能登豪雨で自ら被災しながら、輪島市の災害ボランティアセンターの運営に携わる。継続的な復興支援を進めるために「輪島復興支援団体リガーレ」を立ち上げ、活動を行っている。



武豊町社会福祉協議会

 **0569-73-3104**
武豊町字長尾山2番地 思いやりセンター

